



題材名：『附特ライター』で、目的に応じて内容を決めたり、自分の考えが伝わりやすい書き方を考えたりして文章を書こう

学習指導要領の内容		題材目標	知・技
知・技	イ(ア)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。	『附特ライター』で、原稿の内容を考える時、書く目的に対して必要な内容がわかり、事柄とそれらの具体的な内容を書き表す	『附特ライター』で、原稿の内容を考える時、書く目的に対して必要な内容がわかり、事柄とそれらの具体的な内容を書き表す
思・判・表	ア 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。		目的に応じて様々な文章を書く時、書く目的について考え、必要な情報を判断し、必要な内容を入れて文章を書く
学び	言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		必要な内容を整理して、目的に応じた文章を書く

教材と仕組み

教材名：『附特ライター』

- ライターとなって、目的に応じた内容を考えて、文章を書く

＜展開場面＞

- 案内状や依頼文などを書くために必要な事柄や具体的な内容を友だちと話し合っ、ライターメモに書き出す

＜発展場面＞

- ライターメモに書き出した内容を、タブレット端末で文章にして案内状や依頼文を作成する



観点別評価	知・技
知・技	受託販売の依頼文などを書くために必要な内容を考える時に、ライターメモの上段に「期間」「何を売るか」「価格」「個数」などと必要な事柄を、下段に「9月1日から10月1日まで」「パラコードのアクセサリ」「三百円」「50個」などと具体的な内容を書き、目的に応じて必要な内容をライターメモに書き表すことができた。
思・判・表	目的に応じて、「販売期間」や「商品名」「価格」「個数」などの必要な内容を入れて、依頼文や報告文などの文章を書くことができた。
学び	目的に応じて必要な内容を整理して文章を書く姿が見られた。

関連する授業づくりの手順

ポイント

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

ポイント

教材の仕組みを決定する

ポイント

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

R研で毎時間の授業の評価・改善

ポイント 必要な内容を決めるまでの **考え方を整理** するための教具の工夫

『事柄カード・内容カード』
『ライターメモ』

書く目的に対して必要な事柄を事柄カードに、事柄の具体的な内容を内容カードに書き出し、関連するもの同士を線で結ぶことで必要な内容を決めるまでの過程を視覚化した。題材の進行に伴い、事柄とその具体的な内容をライターメモに直接書くようにした。

ポイント **対話的に** 学習するための授業展開の工夫

書く目的に対して必要な事柄やその具体的な内容について、考えを伝え合いながら進めやすくするために、拡大したライターメモを使って話し合うための情報を共有できるようにした。

話題を共有しながら話し合いを円滑に進めることができるように、事柄や具体的な内容を書き出したカードを操作しながら話し合うようにした。題材の進行に伴ってカードの使用をなくしていった。

考察

- 事柄カードと内容カードを使って「必要な内容を決めるまでの考え方」という抽象的なものを視覚化したことで、書く目的が変わっても、同様の考え方で必要な内容を決めることができるようになったと考える。
- ライターメモに必要な内容を書き出す時に、①事柄②具体的な内容の順番に思考することのよさを意味づけることで、必要な事柄をすべて書き出した後に、その具体的な内容を書き出し、必要な内容をスムーズに決めることができるようになったと考える。
- 書く目的に対する必要な事柄や具体的な内容について考えたことを友だちと伝え合う活動に拡大したライターメモや事柄カードと内容カードを取り入れたことで、自分の考えを様々な手段で言語化したり、友だちの考えから新たな気づきを得たりして、目的に対して必要な事柄や内容を生徒同士の対話を通じて決めていく姿が見られたと考える。